

東京薬科大学裏新聞

学大薬科 新聞大会 発行所 東京薬科大学 責任者 新井 貴子

平成10年度新聞会執行交代

来年の新聞会は任せた!

去る十一月十一日(火)、一年生全員を招集して行われた秘密会議において、新聞会の新執行が次のように決定された。

- 会長 一 D 原 太志
- 副会長 一 A 天野 正康
- 会計 一 一分 竹内佳代子

来年度の会長に選ばれた原君に、今後の抱負を聞いてみようと思つたら、彼は「風邪のため」に欠席していた。いづぞや、「新聞会を全面を担えるような、素晴らしい会にしたい」と大きい事を言っていたのだが、出だしから不吉な予感がする展開だ。彼のもっとも大きな弱点は、体が弱いこと、これにつきるだろう。来年度も病欠が多くなり、副会長への負担が大きくなるのが予想される。会員達からも、心配する声が多数挙げられていた。「お前、体弱すぎ、力をためろ。どうして肝心な時にかきまわって、風邪をひくんだ?」「肩挑頭はささないように気をつけよう」「原君、彼女大切にね」「彼女のことを忘れず、新聞会のこと忘れず、たたりしないでね」などなど、原君の心を心配した、心温まるメッセージが多数寄せられている。原君には、これを励みにして、風邪をひかないように闘って欲しいと思う。

新聞会の副会長は、新執行メンバー、納会、追コンなど新聞会の宴会を企画する宴会部長である。来年度の副会長に選ばれた天野君に、意気込みのほどをきいてみた。「今までの新聞会は飲みがたりないで

す。もっともっと楽しくなければ、飲みとはいえないでしょう。僕が新聞会の宴会部長になったからには、更に飲みを増やしたいと思つています。忘年会には、クリスマス会、新年会、会員の誕生日など飲むための理由には不自由しませんね。いろいろ企画したいと思つていますので、乞うご期待、みんな、参加しろよ!」天野君は新聞会の来年のコンパを、一味違ったものにしてくれそうだと、とりあえず、企画倒れにならないことを祈る。

会計になった竹内さんは、抱負を次のように語ってくれた。「今年の新聞会には、無駄遣いしている場が沢山あったと思つています。インクや紙だけではなく、トナーも買わなくちゃいけないのに、修羅場中の食料も必要でした。先達達がなくなったら、プロセスもなくなってしまうすし。欲しい物はたくさんあるのに、お金はぜんぜん足りない。この現状を打破するために、来年の新聞会では節約令をしようと思つています。無駄遣いはやめましょう。とりあえず、校外の取材は二人まで、竹内さんのように金銭感覚がしっかりしている人が会計ならば、来年度の新聞会の金庫は安心だろう。監査の定例会にはきちんと出席し、しっかり手算をせしめてくれるよ。」

十一月二十日の東京競馬場第十レース(シヤバシヤバ)の出走直前に、立川、後園園のWINS(場外馬券売場)で未成年、学生の一斉検査が行われた。その結果、一日で八千六百八十九人の高校生が逮捕された。文部省と警視庁の見事な連携で、JRAはこれに反発的の態度を取っている。日頃彼らは「学生、未成年の競馬馬券の購入は禁止されています」と公言し広告にも掲載している。そのことを考えると、この態度はおかしい。しかしJRAの運営を考えると、その理由も簡単に説明できる。

現在、JRAの各WINS

競馬スヌメ

競馬場の入場者数の八割近くが学生、未成年である。もちろん売り上げもそれに比例している。もしここで学生、未成年馬券購入者全国一斉検査が行われたら、JRAは顧客の大部分を失い、組織の根幹を揺るがす事になる。その為、JRAは法の目をかいくぐってやってくる学生に対して、寛大であり続ける。

更にシンザン、テンポイ、シンボリルドルフ、ハイセイコーと言った馬の名前は、広く国民の心に深くこみ込まれた名馬である。ここから見るに、競馬には他のスポーツ同様のスター性も持っている。これらから、競馬は中学生以上にも開放すべきではないか。そうすれば競走馬達は素晴らしいレースで魅せてくれる上に、年少者が競馬場に行くと、今後関係諸機関には、もっと積極的に開放を考慮してもらいたい。

なんて立派なことを書いてみたけど、やっぱり、身分を隠しているスリルはたまらないなあ。

見学会大失敗

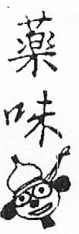
十一月十四日に薬学部一年生による病院、企業、研究所の見学会が今年も行われた。しかし、企業に見学会に行けば豪華なお土産がもらえるというまことしやかな噂が流れたため、その内の七割は企業を選んだらしい。今回は見学会に書いた感想文の中でおもしろかったものを紹介する。

「病院内が広くて、途中で迷ってしまった。気がついたら手術の最中の手術室に入り込んでいた。貴重な体験が出来た。」

「初めて白衣を着たけれども、サイズが全然あわず、後ろの部分を引きずらしてしまっていた。床がきれいになって良かったと思う。」

動物慰霊祭

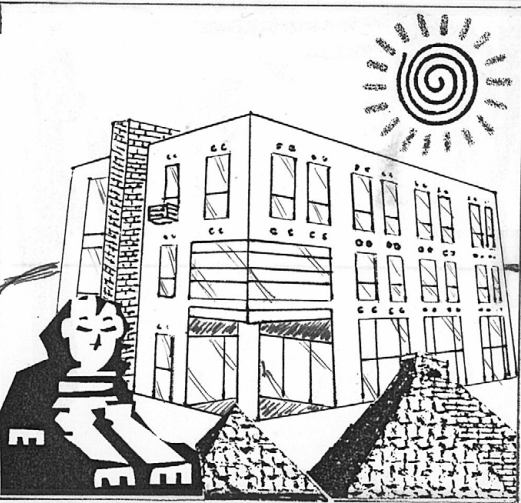
十二月一日(月)昼休みに、動物慰霊祭が四三三講義室でしめやかに行われた。講義室に設けられた祭壇の上には、ヒキガエル、スナグス、猫などの遺影が並んでいた。M学長の挨拶の後、参拝者は一様に焼香を済ませ、犠牲動物の冥福を祈った。さて動物実験廃止を求める声が強まる中でM氏はこう言う。「季節ごとに売り出される化粧品の新製品、その華やかな広告の陰で、たくさん動物達が苦しんで死んでいる事を知っていますか。口紅やファンデーションと引換に死んでいく動物達の事を想像してみてください。」なんとM氏はZOJの「キャンベーン」を展開し、動物実験の科学的、倫理的、適性を訴える動物愛護団体の会員でもあった。動物実験の必要性と人道的配慮。この2つが頭の中で葛藤しているのはM氏に限らず皆が考えている事ではなからうか。



日本がサッカーワールドカップ本戦初出場を決めた。半年後にはフランスワールドカップが開催される。世界トップクラスのアールゼンチンをはじめとする強豪各国に、日本は胸を借りるつもりでぶつかって行つてほしい。●ところで開幕までのあいだ我々サポーターは何をするべきであろうか。半年間ただ何もせずに待っているだけではあまりに待つていない。そこでサッカー関連の読書をお勧めする。読書といっても堅苦しいものではない。マンガである。何も難しい戦略などを学ぶ必要はない。我々サポーターに必要なのは、熱い心である。サッカーマンがそれを与えてくれる。●ここでサッカーマンガについて考えてみる。有名どころをいくつか挙げると、「シュート」「キャプテン翼」「頑張りキッカーズ」...

新部室棟崩壊

かつて新部室棟があった場所には、今や草木が鬱蒼と覆い茂り思わぬ過去を封印している。一九九七年十一月五日、運命の日。これからは起ることも微塵も感じさせない、抜けるような青空が広がっていた。早朝の静けさの階段を二人の男が話をしながら下りてくる。「ところで君、あのプロジェクトはどうなっているのかね。頭の糸が切れた初老の男が耳打ちをする。彼の部下らしきもう一人が答える。「もはや完成しております。あとは学長の許可さえ下りれば、すぐにも……」と言いかけて、彼は奇妙な音が付いている。何か巨大な物体が蠢いている音である。二人はお互いの顔を向かわせると、新部室棟に向かっ



在りし日の新部室棟さん エジプトにて (東葉新聞 カイロ支局)

て駆け出した。「そんな馬鹿なっ！」そこで彼らが目撃したものは、割れ落ちるコンクリートをもとめず立ち上らろうとしている新部室棟の勇姿であった。「まだ駆動システムは組み込んでいないはずなのに……」男のつぶやきを聞き流すように、咆吼する新部室棟。ヤツは突然と見上げる男たちを無造作に踏み潰して、多摩テック方面に向かって進撃を始めた。ヤツは破壊衝動のおもむくまま小学校の校舎を踏み越えていく。その時すでに緊急出動命令を受けて、自衛隊の特殊部隊が多摩テックに集結しつつあった。「ヤツはいったい何の目的で多摩テックに向かっているのか? 行動パターンを解析を急げ!」指揮官は目前に迫ったヤツの偉容に気圧さ

れつつも、命令を下した。お構いなしに木々を掻き倒しながらヤツは突き進んでくる。「撃てええええーっ!」無情な指先はヤツの背後を返りながら絶叫した。それが彼の最期の言葉であった。自衛隊を粉砕したヤツは、何事もなかったかのように方向を転換した。ヤツの目指したその先には……多摩テック温泉が。温泉に入っていた人々は周章狼狽して、蜘蛛の子を散らすように逃げ去った。温泉で泳ぐ新部室棟。温泉をシンクロのまわくをすすめる新部室棟。ヤツは温泉でリゾート気分を満喫した後、新たなターゲットを捜すべくゆっくと立ち上がった。同時に十字砲火の弾幕がヤツを包み込む。「ふっ、貴様の行動を見切った! 不敵な笑みを浮かべた男は、自らの理論に酔い痴れて

いた。「ヤツのAIは学長の思考パターンをもとに設計されている。すなわち、温泉での長風呂はヤツの宿命的な欠陥なのだ。わたしがこの……ぎゃびーっ!」と叫び、立ち籠めた砲撃の中から出現したヤツは、本来の装甲を露わにしつつも、黙示録的な威嚇を込めていた。能弁の中断を余儀なくされた男は四つんばいになり、近くのゲートに転がり込んだ。そこはテロ組織「激進ひまわり」の隠れ家のひとつであった。トイレに入った男は躊躇なく便器の中に滑り込んだ。秘密の通路を抜けた先の小部屋で男は怪しげな端末を発見した。すがりつく思いでその端末を操作してみる。それは氣象衛星ひまわりへつながる裏回線であった。男は九死に一生を得た思いで端末を操作した。ひまわりには有機的な形態変化を繰り返しながら砲台を創出して

次の瞬間、衛生軌道上から放たれた強烈なレーザーが新部室棟を襲う。「ふへへっ、この『向日葵砲』を受けてみる!」男が叫ぶと同時に、多摩テック一帯が閃光に包まれた。男のいるゲートも多摩テックと同じ運命を辿ることとなった。レーザーは地球を貫通しリオ・デ・ジャネイロのコルコバド山頂に響える白亜の巨大キリスト像を破壊して宇宙の彼方へと消えていった。しかし、新部室棟の残骸はついに発見されることはなかった。なわけて東葉に再び平和が訪れた。と、田舎であることに変わりはない。そりゃ、温泉も出るさ。

なんが校外の文章を書くことになったみたいで、校外というからには私の母校の事でも書くのかなと思いつたら、他人の書きをいじり松岡三夫のネタをあんなりばらすと電高の特捜隊にかまるとで気をつけましょうね。とあるひとへ。ヒポボタマスの脳味噌がグリリルリチンサンナトリウムで出来たという頃東葉ではどこからともなく華原朋美が聞こえてくる。と突然ヘンゼン池の水面が二つに割れ、偽小室哲也が登場した挙げ句、「うまいぞー」と呼ぶ運転手のパスが出現した。そこには「神機、仏機、岡田機」と書いた横断幕が! パスの中には自分の恩子の応援に

歌強制合唱がしめやかに行われた。斉唱後、一人三千枚全員に電高校歌のテープが配られ「三日間で全部売りさばかないと不幸になるよ」と言い残して左近氏は逃いしようとした。どうやら小室を引きずり落として歴史に名を残したいらしい。だが、我らの松岡校長がそのような悪事を見逃す訳がなかった。正義の鉄槌を下すべく松岡氏は宇宙校長に変身するべく叫んだ! 「蒸着!」同時に投げ捨てた! 蒸着の中からまばゆい後光がさした。「うおっ!」その光を受けた左近氏は宇宙怪人の本性を現した。ここで講義室内特別リングにおいて時間無制限の熱い男の闘いが始まった! だが、そのスキに参加者が全員逃げ出そうとしたため宇宙校長と宇宙怪人は共同戦線を敷き、攻撃目標を東葉に向け、今更の正義の天誅が下される! 闘え! 闘え! 校長! 電高を宇宙一にするために! 「アディオオオオオオオオ」

野人という酷いことを言っている母親がすでに! 通称「手作バス」であります。毎日、ヘンゼン池から登場し、フランス経由でコストリカまで運行されています。これにより夜遅くまで残らなければならなかった失楽園の人間も、安

講演会

去る十一月二日(日)に、本校一二講義室において特別講義が行われた。講義の課題は現在世界的に注目されている「電子の愛」を取り上げ、講師には私立東京電機大学付属高等学校元校長・松岡三夫氏をお招きしました。松岡氏は「宇宙原子学で俺様が一番偉いんだぜ大賞」を受賞した経歴を持ち、電高の生徒の間では「アディオス」のあいさつで親しまれているスーパー校長である。今回の講義では「電子の愛」以外にも「陽子の折り」等についてもお話しいただいた。また、講義の途中には「いつまでも若いんだから僕達恋をするさなもへ」の唄い出して超有名な電高校歌「風よ光よ」を作詞された宗左近氏も応援に駆けつけた。宗左近氏の側近電高合唱団に加え、わざわざドイツから呼び寄せたらしいケルン交響楽団による電高校

行事予定
十二月六日(土)
新聞会追コン
一月八日(金)
号外発行(たぶん)

校外失楽園

第888話
全に失楽園から脱出できるようになったのです。ある失楽園生は「パパラッチパスが走るようになってから、失楽園周辺を歩くのって、失楽園じゃないですか。いや中に毎日のっている野村幸代似の魔物も失楽園なんですけどね。」

たんだ。思わず失楽園一連れていかれそうになりました。現黒木部長は失楽園パス登場の演出がいまいちゴツチなようだが、これは一見の失楽園が大いにある。ジャイコの本名はジャイコ (失楽園監一)